

印刷業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13～14	印刷工場内の紙積み作業台において紙積作業終了後、積み終えた紙を運搬のため、作業台を持ち上げたところ左側腰部に激痛がはしった。	38～29	10～29
2	18～19	工場2階の下30セットPs33輪転機駆動部において、朝刊印刷で使用する輪転機の連結操作を行った際（輪転機の版胴にターニングバーを差し下から上に回転させる操作を行った際）、輪転機が複数台連結された非常に負荷の高い状態であったため、力を入れた時に腰部を痛めてしまった。	34～99	50～99
3	8～9	役員室の清掃の為、階段を7階から8階に上がる際、右足がもつれて躓き、バランスを崩した。手に持っていたお皿に注意してしまったことにより余計にバランスを崩して階段を踏み外し、左足で踏ん張った際に強く捻ってしまい、右のすねを階段に打ちつけた。	32～499	300～499
4	10～11	当社建物内3F丁合作業場所、北側窓際、カード収納用カートン（10cm×31.5cm×43.5cm）の空箱の移動作業中、空箱が12段程重ねてあり床に直置きされている状態床に直置きのため持ちあげる時に腰に負担がかかるので数回に分けて運ぶように指示していたが、一度で運ぼうとし、かがんだ姿勢からの立ち上がりで腰を痛めた。	35～299	100～299
5	15～16	原紙の運搬作業でハンドリフトを操作した時、ハンドリフトの横側（左）に立ち操作レバーを押した際、自分の左側には次作業で使用するジャンボロールがパレット上に準備されていて、自分の進行方向は左に位置する為、左足を左に踏み込んだ時につま先がパレットに接触した。ハンドリフトは、真っ直ぐ進行させなければ	19～49	30～49

		ジャンボロールに接触する為、体と手が離れた状態になり、左足を踏み外して左足首を捻挫した。		
5	14～ 15	作業中に階段を降りていた時に足を捻り、左足を受傷した。捻挫と思いそのまま仕事を続けたが、終業後も痛みと腫れが引かなかった。	58	100 ～ 299
6	15～ 16	工場内にて、両手で印刷物を繰り返し持ち運びする作業中に、左上肢に痛みを感じた。	41	1～ 9
6	10～ 11	印刷作業時、3階作業フロアで指導を受けた事に対して興奮し、何度か転倒した際に負傷した。	30	1～ 9
7	14～15	ハンドリフトで印刷物（冊子）を運んでいる時に方向転換を行った。ハンドリフトは重量が500kgあり重く、方向転換する際強く引いたため足がもつれ足をひねり左足にひびが入った。	27	100 ～ 299
7	10～ 11	工場内のスリット2号機付近でスリットの準備作業の一つである立っている状態の印刷原版を倒す作業中に腰をひねって腰椎捻挫（ぎっくり腰）となった。	40	30 ～ 49
7	15～ 16	工場へシールを納品後、敷地内の駐車場へ行く途中にトラックが止まっていたので、急いで横断したとき、「パキッ」と音がして右太ももを損傷した。	35	30 ～ 49
10	16～ 17	工場内で手洗い場に移動中床でつまずき、左足甲で接地して、左足小指側甲付近を骨折した。	52	30 ～ 49
11	22～ 23	工場旧HB棟、旧発送棟間の歩行者通路（グリーンベルト）において、正門を出たところのバス停に向かって移動中に、バスに乗ろうと急いで小走りをしていた際に、バランスを崩して左足を捻り、負傷した。	45	500 ～ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html